

2008年度 環境自主行動計画フォローアップにおいて
目標の引き上げ等を実施した業種

1. 【産業・エネルギー転換部門（34業種）のうち目標を引き上げた業種：4業種】

	変更の内容		備考
	従来目標	見直し後の目標	
日本ガス協会	都市ガス製造・供給工程において、ガス1m ³ 当りのCO ₂ 排出原単位を、1990年度84g-CO ₂ /m ³ から2008～2012年度（平均値）で12g-CO ₂ /m ³ に低減。CO ₂ 排出量を1990年度の133万t-CO ₂ から54万t-CO ₂ に低減する。	都市ガス製造・供給工程において、ガス1m ³ 当りのCO ₂ 排出原単位を、1990年度83.6g-CO ₂ /m ³ から2008～2012年度（平均値）で10.0g-CO ₂ /m ³ に低減し、CO ₂ 排出量を1990年度の132.8万t-CO ₂ から45.0万t-CO ₂ に低減する。	目標の引き上げ コージェネレーションシステムの導入等によるCO ₂ 排出削減効果について、火力電源平均方式で算定したCO ₂ 排出量を全体の購入電力（全電源平均方式）から控除する方式に変更。
日本自動車工業会・日本自動車車体工業会	<p>【日本自動車工業会】 生産工場から排出される2008年度～2012年度のCO₂総排出量（平均値）を、1990年度の12.5%減とする。</p> <p>【日本自動車車体工業会】 2010年度にCO₂排出量を、1990年度比10%削減する。 (2008～2012年度5年間平均値も同値とする。)</p>	<p>参加会員企業の四輪、二輪、架装物および同部品生産工場から排出されるCO₂排出量を、2008年度から2012年度の5年間平均値で1990年度比22%削減とする。</p> <p>《本年より、日本自動車工業会と日本自動車車体工業会は統合して取組みを推進》</p>	目標の引き上げ
ビール酒造組合	2010年度のビール工場における発泡性酒類（ビール類）生産時のCO ₂ 排出量を1990年度比で6%削減する（この目標は2008年度から2012年度の5年間の平均値として達成するものとする）。	2008年度～2012年度平均のビール工場における発泡性酒類（ビール類）生産時のCO ₂ 排出量を1990年度比で10%削減する。	目標の引き上げ
日本電線工業会	生産工場における光ファイバケーブルの製造に係る単位生産長当たりエネルギー消費量を、2008年～2012年の5年間の平均値として2010年度までに77%削減する。	生産工場における光ファイバケーブルの製造に係るエネルギー原単位（単位生産長当たりエネルギー消費量）を、2010年（2008～2012年度の5年間の平均値）に対1990年度比78%削減することを目指す。	目標の引き上げ

2. 【業務部門（13 業種・企業）のうち、目標を引き上げ目標指標を追加した業種：
1 業種】

	変更の内容		備考
	従来目標	見直し後の目標	
不動産協会	<p>①不動産協会会員企業は、ビル等の新築に際し、長寿命化を重視するとともに最新の省エネルギー設備・機器を積極的に導入し、トップレベルの省エネルギー性能を念頭に置いた設計を推進する。具体的には、新築オフィスビルの省エネ性能について数値目標を設定する。</p> <p>②不動産協会会員企業がビルを使用するに当たっては、日常的な省エネルギー行動の推進、省エネルギー機器の導入などにより、2010 年において、床面積当たりのエネルギー消費量(エネルギー消費原単位)が 1990 年水準を上回らないことを目指す。</p>	<p>①不動産協会会員企業は、ビル等の新築に際し、長寿命化を重視するとともに最新の省エネルギー設備・機器を積極的に導入し、トップレベルの省エネルギー性能を念頭に置いた設計を推進する。具体的には、オフィスビルを新築する際には原則として省エネ法の定める「建築主の判断の基準」を 1 割程度以上上回るレベル (PAL、ERR でそれぞれ 10%程度以上低減するレベル) とする。さらに、大規模なオフィスビルの建築に際しては、設備・機器の省エネルギーについてより高い目標 (ERR で 20%程度以上低減するレベル) を設定し、積極的に CO2 等排出の削減に努める。改修、設備更新等に際しては、上記の新築時の基準を考慮しつつ、長期的観点を踏まえ計画的・積極的に対策を講じていく。</p> <p>②不動産協会会員企業が自らの業務でビルを使用するに当たっては、日常的な省エネルギー行動の推進、省エネルギー機器の導入などにより、床面積当たりのエネルギー消費量(エネルギー消費原単位)について、2008 年度から 2012 年度の平均値が 1990 年度水準より 5%下回ることを目指す。</p>	<p>数値目標の追加設定</p> <p>目標の引き上げ</p>

3. 【運輸部門（13 業種・企業）のうち、目標を引き上げ目標指標を追加した業種：1 業種】

	変更の内容		備考
	従来目標	見直し後の目標	
全国通運連盟	通運集配車両の大型化及び低公害車の導入等により、輸送量を 1998 年度と同一にした場合の CO2 排出量を、2010 年度に 1998 年度比 11%削減する。	2010 年度においては、輸送量を 1998 年度と同一にした場合の CO2 排出量を、1998 年度比 15%削減する。 2008 年度から 2012 年度における集配車両からの CO2 排出量を年平均 0.184 万 t-CO2 削減する。	目標の引き上げ 数値目標の追加設定

4. 【業務部門（13 業種・企業）のうち、目標指標を追加した業種：1 業種】

	変更の内容		備考
	従来目標	見直し後の目標	
KDDI	2011 年度に想定されるエネルギー使用量を 16%削減し、温室効果ガス排出量（CO2 換算）を 152 万 t とする。	①2011 年度に想定されるエネルギー使用量を 16%削減し、温室効果ガス排出量（CO2 換算）を 152 万 t とする。 ②2008 年度から 2011 年度に想定されるエネルギー使用量を年平均 12.4%削減することにより、年平均エネルギー使用量を 231,991 万 kwh、年平均温室効果ガス排出量（CO2 換算）を 128.8 万 t-CO2 とする。	数値目標の追加設定

以上